

事務事業名	産業振興の拠点事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
H29作成課等名	工業課	H29係等名	知の拠点整備係	H28担当課等名	工業課			
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり					
	施策	13	新しい力による新しい産業づくり					
目的	対象(誰・何を)	知の拠点		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	知の拠点の整備、システム共同研究講座の開講準備完了			工業統計による地域内事業所数(飯田下伊那)		486	
	向上させたい上位施策の成果指標	工業統計による製造品出荷額(飯田下伊那)			航空機産業に係る地域内出荷額		30	
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	知の拠点整備面積		0	0	3202	3202	
	成果指標	コンソーシアムを構成する団体数		7	9	10	10	
定性目標								
事業概要	<p>1 国土交通省が提唱するナレジ・リンクの形成に向けて、旧飯田工業高校跡地を利用し知の集積を図るための施設整備を行う。</p> <p>①実施設計 ②教室棟改修工事</p> <p>2 リニア時代を見据えて、地域産業の更なる発展を支える知の拠点づくりのため、産業センターの移転拡充の準備を行う。</p> <p>①技術の高度化、新たな分野への挑戦を支援する研究開発機能 ②企業の研究開発を支援する公的試験場としての試験・検査機能 ③高い技術力を持つ人材の育成を進める機能 ④インキュベート機能、情報発信機能、異業種連携の推進</p> <p>3 信州大学航空機システム共同研究講座の開設のために、産官学によるコンソーシアムの運営支援を行う。また、準備室を立ち上げ開設に向けた具体的な準備を行う。</p>							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	<p>1 実施設計 拠点建物整備の全体設計</p> <p>2 第1期工事(教室棟改修工事) 旧混合電気科棟の全体整備(RC造4階建) 旧体育館棟(SRC造)に着水試験室整備 旧機械科棟(RC造)に事務室整備</p> <p>3 航空機システム共同研究講座準備室開設 信州大学航空機システム共同研究講座の開始に向けた準備室の開設</p>			<p>1 委託数等</p> <p>2 棟数</p> <p>3 開設月数</p>		<p>1 1件</p> <p>2 3棟</p> <p>3 12月</p>		
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①	0	509,000	508,999	924,000	(国)地方創生加速化交付金 (そ)知の拠点整備事業受託事業収入 27→28 繰越明許費 508,999千円(地方創生加速化交付金) 28→29 繰越明許費 924,000千円(地方創生拠点整備交付金 1/2)			
国庫支出金		79,000	79,000	62,000				
県支出金								
起債				62,000				
その他		430,000	429,999	800,000				
一般財源								
人件費計(千円)②	1,430	6,437	6,437	0				
正規職員所要時間	400	1,800	1,800					
臨時職員所要時間								
総事業費①+②	1,430	515,437	515,436	924,000				
事業内容・目標達成状況の振り返り	南信州広域連合からの委託を受け、全体設計と旧混合電気科棟の整備を実施した。年度末までに事業を完了し、平成29年4月には信州大学航空機システム共同研究講座の開講式を行うことができた。							
改革改善の考え方	①問題点	全4期工事のうちの第1期工事が終了したことから、引き続きⅡ期、Ⅲ期工事を長野県、南信州広域連合の他関係機関と調整しながら進めていく。						
	②改革提案	より有利な財源確保に関する情報収集はわかりながら、14市町村が連携し、広域連合と事業を進めていく。						